

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めてきた。

広島県地域保健対策協議会 保健医療基本問題検討委員会でとりまとめられた「高度医療・人材育成拠点ビジョン」を実現するため開催した「第2回高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」及び「第1回 高度医療・人材育成拠点の運営形態のあり方検討会」等について報告する。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容

第1回拠点ビジョン推進会議開催以降、救急・小児・がんなど11の分野別分科会を計16回開催するとともに、関係病院で構成する広島都市圏病院長会議を開催し、新病院に備えるべき医療機能や病院間での機能分化・連携等について検討を行ったことから、第2回拠点ビジョン推進会議を開催し、検討状況の報告を行った。

また、高度医療・人材育成拠点に求められる役割を確実に果たすために適切な運営形態を検討するためのあり方検討会を開催した。

ア 第2回拠点ビジョン推進会議までの各会議における主な意見等について

(ア) 分野別分科会の議題及び主な意見等について（5月31日～6月30日開催）

区分	内 容
主な議題	○新病院に備えるべき具体的な医療機能はどのようなものか。 ○病院間でどのように役割分担・連携を図るべきか。
主な意見	○救急医だけを集めても課題は解決できない。 <u>病院全体の方向性をしっかり固め、他の診療科との協力体制を確立していくべき。</u>
救急	○今後の働き方改革も踏まえると、マンパワーの問題が生じてくるので、集約化を含めた人材確保を考えた方が良い。
小児	○ <u>小児科、小児外科、小児循環器のスタッフを統合した医療体制を構築し、一次救急から高度救急医療への対応や、小児集中治療室（PICU）の整備により、中国地方初となる小児救命救急センターの設置といった機能強化を図るべき。</u>

周産期	○他県で働いている人が、広島に帰ってきたいと思うような病院となるため、現在県立病院で取り組めていない、出生前診断や胎内治療も行い、 <u>成育医療センターとして機能を拡充すべき。</u>
がん	○拠点病院には、 <u>がんの集学的治療が可能な体制</u> が求められる（手術、放射線治療、化学療法、がんゲノム等） ○一定の症例集積がないと手術関連死亡率や合併症率が高くなり、 <u>周術期管理のクオリティを高めるためにも症例数の集約化は必要である。</u>
循環器 (脳血管疾患)	○ <u>脳卒中集中治療室（SCU）が公的病院に出来て内科と外科の医師が集約されれば、働き方改革への対応や断らない救急が実現可能となる。</u>
循環器 (心疾患)	○県内の患者を新病院だけでカバーすることは難しいため、どのように医師を集約していくのが課題となる。症例が多くなれば治療成績が向上することから、必要な医師を新病院に集約し、新病院で高度な医療体制をどう組み立てられるかを検討する必要がある。 ○機能分化を進めるためには、 <u>回復期を担う病院の経営面での安定が担保される必要がある。</u>
精神	○不登校や発達障害の子供、DVやネグレクトによる患者を支える児童・思春期精神医療が必要ではないか。 ○精神科救急における子供や身体合併症を持つ患者を受け入れる体制が必要ではないか。
感染症	○新病院には感染拡大時に即時に対応できる設備整備や、人材育成機能が必要である。 ○感染症に対応する病院を一か所に集めるのはリスクがあることから、複数の公的医療機関で診られる体制が良いのではないか。
災害	○建設候補地は現在地より災害リスクは軽減されると期待されるが、液化化等、広島の災害特性を踏まえるとともに、周辺環境を含めた建物全体の構造について入念な検討が必要である。
地域医療	○都市圏と中山間地域の医師循環については、医師のキャリアプランや地域に行くことのメリットを整理した上で、十分説明する必要がある。
D X	○ひろしまメディカルDX構想をベースに、県全体に対する新病院の役割について把握しつつ、検討を進める必要がある。 ○県全域の課題に照らし合わせつつ、各分科会の課題を把握し、デジタル技術で解決できる事項を一つずつ整理し、検討していく必要がある。
会議構成員	関係病院、医師会、行政等

(イ) 病院長会議の議題及び主な意見等について（6月30日開催）

区分	主な意見
主な議題	(分野別分科会の検討状況を報告し、意見聴取)
主な意見	○まずは広島県で研修を始める医師を増やすことが重要。今回の新病院整備の目的は、医師数を増やすことにある。
人材の集約について	○ <u>指導体制が充実した魅力のある新病院ができることにより、広島大学を卒業した医師の県外への流失が防げるのではないか。</u> ○ <u>新病院に集まった医師が、入局・非入局に関わらず、広島に残って働き続ける仕組みをつくってもらいたい。</u>
その他	○広島大学病院、広島市民病院、新病院が切磋琢磨すれば広島の医療も変わってくる。ぜひこの構想を成し遂げてもらいたい。
会議構成員	関係病院、行政等

(ウ) 第2回拠点ビジョン推進会議の議題及び主な意見等について（7月4日開催）

区分	主な意見
主な議題	(分野別分科会及び病院長会議の検討状況を報告し、意見聴取)
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ○新病院に若手の医師を多く集めるためには、初期臨床研修医の定員を増やす必要があるが、そのためには<u>指導医の確保</u>が求められる。 ○<u>医師以外の人材も含めて、関係職種が上手くローテート</u>できる広島の医療を実現するための新病院であってほしい。 ○高度医療、急性期の救急医療、地域連携など様々な機能について議論が行われているが、<u>新病院のコンセプトを明確化し、大学との役割分担を図るべき</u>である。 ○新病院では、公的・民間を問わず、二次救急をはじめとした地域の医療機関のバックアップが行える病院となることを期待している。
新病院に必要な医療機能	
医療機能の分化・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○新病院の設立及びそれに伴う周辺医療機関との<u>役割分担の見直し</u>により、<u>大学医局からの医師派遣にどのような変化を想定すべきか、可能な限り早い段階で情報提供</u>をお願いしたい。 ○仮に医師やその他スタッフが新病院に集約された場合には、職員の身分や雇用はどうなるのか。新病院の経営形態を含めて情報提供をお願いしたい。 ○県が進めるビジョンの実現には積極的に協力したいと思う一方で、<u>これまで地域で担ってきた役割は引き続き維持したい</u>という思いがある。
新病院に必要な人材育成・派遣機能	<ul style="list-style-type: none"> ○新病院には多くの医師が集まり発展する一方で、中山間地域をはじめとした地域の医療機関にはどのように人材を派遣してもらえるのか明らかにしてほしい。 ○新病院で働く医師のキャリア形成を考慮した上で、中山間地域の医療機関などへの円滑な派遣の仕組みを構築する必要がある。
地域住民への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に存在していた基幹病院が仮に移転する場合、これまでその病院を中心に構築した病診連携や地域包括ケア体制にも影響が生じることから、こうしたことへの対応についても十分検討する必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○新病院の収支はどのように見込んでいるのか。新病院を建設することで県財政への大きな負担となり、ひいては県民に多大な負担を生じさせることのないように検討してほしい。
会議構成員	関係病院，医師会，行政等

イ 運営形態のあり方検討会の議題及び主な意見等について（7月8日開催）

(ア) 議題及び内容

項目	内容
運営形態に求められる要素の検討	<p>新病院に期待される役割を踏まえ、運営形態に求められる要素を検討</p> <p>【新病院に求められる役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県民の医療需要に応える（政策医療の実施） ②県民に高度な医療を提供する ③中山間地域の医療を守り、持続的な医療提供体制を確保する

(イ) 会議構成員（個人）

医療関係者，大学教授（医療経営），公認会計士から構成

(ウ) 会議における主な意見

区分	主な意見
県民の医療需要に応える（政策医療の実施）	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>政策医療の実施を担保するためには、経営形態としては指定管理ではなく、地方公営企業法全部適用か地方独立行政法人のどちらかしか残らないのではないか。</u>

中山間地域の医療，持続的な医療提供体制の確保	<p>○人材育成・派遣拠点としての機能から考えれば，定員管理等が柔軟な地方独立行政法人が望ましいが，一方で，中山間地域への派遣を考えると，行政としっかりと連携できるように議論していかないといけない。</p> <p>○新病院から中山間地域の民間医療機関への派遣を考えた際に，退職金など期間通算ができない場合，新病院の給与体系が魅力的であるほど，派遣が難しくなることが考えられる。医師の給与は一般的に都市部が安く，へき地が高い傾向にあるため，バランスをとる必要がある。</p>
円滑な統合に向けた対応	<p>○医師だけでなく看護師等のスタッフを含めた関係機関の職員に対し，新病院の職員の身分を含めた運営形態について，しっかりと説明していく必要がある。</p>

(3) スケジュール

時 期	内 容
8 月末頃	<p>➤第3回拠点ビジョン推進会議</p> <p>・各病院の役割分担・連携の仕組みに関する協議，基本構想の具体化に向けた整理</p> <p>➤第2回運営形態のあり方検討会</p> <p>・運営形態の検討（県立安芸津病院も含む），方向性の整理</p>

項 目	7 月	8 月	9 月
拠点ビジョン推進会議	● 拠点ビジョン推進会議において各病院の役割分担を協議	●	● 役割分担・連携方針の具体化
分野別分科会	● 分野別分科会（11分科会）において各病院の役割分担を協議	●	
運営形態のあり方検討会	● 拠点の運営形態のあり方を協議	●	

4 令和4年度当初予算 93,747 千円（一部国庫）

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 検討体制

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議

【構成機関】(17機関21名)

広島大学, 広島市立病院機構, 日本赤十字社, 国家公務員共済組合連合会, 医療法人JR広島病院, マツダ(株), 中国電力(株), 特定医療法人あかね会, 社会福祉法人恩賜財団済生会支部広島県済生会, 医療法人光臨会, 医療法人翠清会, 広島県病院協会, 広島県医師会, 広島市医師会, 広島県地域保健医療推進機構, 広島県, 広島市

広島都市圏病院長会議

【構成機関】(19機関)

広島大学病院, 県立広島病院, 広島市民病院, 広島市立安佐市民病院, 広島市立舟入市民病院, 広島赤十字・原爆病院, 広島記念病院, 吉島病院, JR広島病院, マツダ病院, 中電病院, 土谷総合病院, 済生会広島病院, 荒木脳神経外科病院, 翠清会梶川病院, シムラ病院, HIPRAC, 広島県, 広島市

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議(分科会)

分野別分科会

分科会
(救急)

分科会
(小児)

分科会
(周産期)

分科会
(がん)

分科会
(脳血管疾患)

分科会
(心疾患)

分科会
(精神)

分科会
(感染症)

分科会
(災害)

分科会
(DX)

分科会
(地域医療)

【構成機関】

再編・連携対象病院(診療科長), 基幹病院(診療科長), 広島大学(診療科長), その他関係医療機関, 広島県, 広島市

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 委員名簿

氏名	所属	備考
荒木 攻	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理事長	
粟井 和夫	広島大学医学部 医学部長 公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター長	
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	
河本 昌志	医療法人 JR 広島病院 理事長	
工藤 美樹	広島大学病院 病院長	
外林 浩子	中国電力株式会社 執行役員 経営企画部門 グループ経営推進部長	
土谷 治子	特定医療法人あかね会 土谷総合病院 理事長	
檜谷 義美	一般社団法人広島県病院協会 会長	
松本 公治	社会福祉法人恩賜財団 済生会広島病院 院長	
松村 誠	一般社団法人広島県医師会 会長	会長
三井 英夫	国家公務員共済組合連合会 病院部 部長	
山本 匡	一般社団法人広島市医師会 会長	
吉田 和久	マツダ株式会社 執行役員 グローバル人事・安全・病院担当	
若林 伸一	医療法人翠清会 翠清会梶川病院 理事長	
渡部 洋一	日本赤十字社 医療事業推進本部長	
岩崎 学	広島市健康福祉局 保健医療担当局長	
浅原 利正	広島県 参与	
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者	
木下 栄作	広島県健康福祉局 局長	
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官（医療機能強化）	
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官（医療介護）	

（五十音順・敬称略）

運営形態のあり方検討会 委員名簿

氏 名	所属・職名	備考
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	
吉川 正哉	一般社団法人広島県医師会 副会長	
工藤 美樹	広島大学病院 病院長	
谷田 一久	東京都立大学 客員教授	会長
西田 在賢	広島県公立大学法人県立広島大学 特任教授	
林 行成	広島国際大学 健康科学部医療経営学科 教授	
古川 善也	広島赤十字・原爆病院 院長	
山本 恭子	公益社団法人広島県看護協会 会長	
和田 頼知	和田公認会計士事務所（公認会計士）	

(順不同・敬称略)